

平成29年度 基本評価調査

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	所管部局	総務部	作成責任者	総務部長 中野祐介	施策コード	01 - 06
		照会先	総務部総務課ファシリティマネジメントグループ 011-231-4111(内)22-427	関係課	総務部総務課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		3 人・地域	(4)	ふるさとの歴史・文化の保全と継承	B	先人から受け継いだ財産を活かした新たな展開	赤れんが庁舎入館者数
北海道創生総合戦略		北海道強化計画	B1121	新・北海道ビジョン	C08401		
特定分野別計画等							

1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 重要文化財である「赤れんが庁舎」について、様々な活用が期待されている。 2018(平成30)年に北海道と命名されてから150年目を迎えることから、重要文化財であり北海道のシンボルである「赤れんが庁舎」について様々な活用が期待されている。 赤れんが庁舎は1968(昭和43)年に復原改修を行って以来、建物や設備の老朽が進んでいるほか、耐震対策やバリアフリーなど、改善すべき課題がある。 			施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るとともに、芸術文化・観光の情報発信拠点として機能向上を図る。 文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安定性確保や活用に当たっての利便性向上に向け、修復及び改修方法や改修後の具体的な活用方法を検討する。 			
	政策体系	役割等			政策体系	役割等		施策の予算額
施策の推進体制 (役割・取組等)	3(4)B	【赤れんが庁舎リニューアル】 【道】「保存活用計画」を踏まえ、修復及び改修並びに活用方法等の検討					H27	27,000
							H28	46,520
							H29	23,920

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(4)B	◎「保存活用計画」をもとに、修復・改修工事に係る基本設計書を策定する。 ◎「赤れんが庁舎リニューアル基本指針」をもとに、活用に向けた整備内容等について検討を進める。		

<前年度意見への対応>

前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)		付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
3(4)B	赤れんが庁舎の耐震診断及び耐震補強案の策定を行うとともに、重要文化財としての保存や活用方法の基本的な方針である保存活用計画を策定しており、これらを踏まえ、地震時の安全性確保や利便性向上に向けた修復及び改修に向け、基本設計書作成業務を進めている。		B1121	C08401	
3(4)B	道民や専門家などから赤れんが庁舎改修後の活用に関する意見を聴いており、これらの意見や保存活用計画を踏まえながら、歴史文化・観光の情報発信拠点として活用を図っていくため、赤れんが庁舎リニューアル基本指針の具体化に向けて、改修後の具体的な整備内容等について検討を進めている。		B1121	C08401	

(2) その他の取組の成果等

国等提案・ 要望状況		施策に 関する 道民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・道民ワークショップ(平成28年9月～10月に、道内4カ所(函館、網走、旭川、札幌)で道民に対し実施)、事業者等ヒアリング(平成28年9月～平成29年1月に、観光、出版、まちづくり等各分野の事業者を対象に実施)、ボランティアガイドアンケート(平成28年10月～11月に、赤れんが庁舎のボランティアガイドに対し調査を実施)及びインターネット道民ニーズ調査(H29年1月～2月に、調査会社に登録している道内のモニターに対し実施)を行い、歴史展示や観光情報拠点の機能など、赤れんが庁舎に欲しい機能等について意見を聴取した。 ・上記意見を踏まえ、保存活用計画を策定しており、改修後に向けた具体的な整備内容等について検討を進めている。
---------------	--	---------------------	---

平成29年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(4)B	赤れんが庁舎を文化・観光発信拠点として積極的に活用するため、環境生活部及び経済部と連携するとともに、北海道150年を節目に実施する赤れんが庁舎の機能向上について総合政策部と連携。	0214	総合政策部政策局	<ul style="list-style-type: none"> 赤れんが庁舎において、環境生活部では各種文化行事を実施するとともに、経済部では観光ボランティアによる案内を行うなど、赤れんが庁舎の積極的な活用を行った。 赤れんが庁舎のリニューアル事業は北海道150年事業の関連事業として位置づけられており、総合政策部と情報の共有を図り、赤れんが庁舎の今後の活用方法との整合を図ることとしている。
		0315	環境生活部文化・スポーツ局文化振興課	
		-	経済部観光局	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果

平成29年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37					
	赤れんが庁舎入館者数(人)	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37					前庭を含めた適切な維持管理、各種行事の開催、観光ボランティアの活動などにより、増加した観光客を取り込むことができている。
		基準値	510,378	目標値	570,000	最終目標値	700,000	年度	H28	H29	進捗率	
	〔指標の説明〕 H26年度の赤れんが庁舎入館者数を基に道外客の目標増加率(38%増)と同程度の目標値とする。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	550,000	570,000	700,000	
		北海道総合計画		3(4)B	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	650,408	—	650,407	
								達成率	118.3%	—	92.9%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(4)B	1					A・B指標のみ	【赤れんが庁舎入館者数(A)】 前庭を含めた適切な維持管理、各種行事の開催、観光ボランティアの活動などにより、増加した観光客を取り込むことができています。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	1						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	赤れんが庁舎の積極的な活用、歴史文化・観光の情報発信拠点としての機能向上に向けた改修方法や改修後の具体的な活用方法の検討について、取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	赤れんが庁舎の機能向上や利活用について、道民や専門家などから意見を聴取しており、施策の推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	赤れんが庁舎や前庭におけるイベントの告知、北海道150年事業を踏まえた赤れんが庁舎のリニューアル事業の検討において、関係部と連携した成果を確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか		
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析 判定(計)	取組の分析 判定	総合評価
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(4)B	道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るため、文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安定性確保や活用に当たっての利便性向上に向け、修復及び改修方法や改修後の具体的な活用方法の検討を引き続き進める。		B1121	C08401
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01	—	06
-----	-------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> ・道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図り、歴史文化・観光の情報発信拠点としての機能向上を図るため、平成30年度当初予算において修復及び改修に係る実施設計費を計上した。 ・改修後の具体的な活用方法については、展示構成案や管理運営手法等について検討し、リニューアル基本指針として策定する。 (拡充: 赤れんが庁舎改修事業費)	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 — 06
-----	-------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	1 事業
反映結果	- 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	1 事業

次年度新規事業 (予定)
事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0116	庁舎等維持営繕費 (赤れんが庁舎改修事業)	拡充	拡充